

項番	ご意見の内容（原文を掲載）	本市の考え方
1	新市長に期待しています。 前市長とは違う市民に寄り添う市政をおねがいします。	公共施設等総合管理計画の大幅な見直し等の際には、今後も、市民の皆様のご意見を伺いながら改定を進めてまいります。
2	地域の人の要望をよく聞いて進めてください	
3	岸和田市に住んで 76 年になります。子供の成長にあわせて保育所やちびっこホーム、社会教育など仕事の合間に公共施設づくりを市に働きかけ、住んでよかったと岸和田を肌身で感じています。でも今回の公共施設の適正化案は私のずーと住み続けたい岸和田にはほど遠い案ですね。 子どもからシニアまで近くの公民館で交流、学習できそれが何よりの認知予防になっているのかご存じでしょうか。シニアたちが前向きに生き医療費や介護の軽減で市に役立てていると自負しています。 こんなに減らすと、災害時が心配です。	平成 30 年 7 月 19 日に開催されました国の第 1 1 3 回社会保障審議会医療保険部会において、スポーツ関係・ボランティア・趣味関係のグループ等への社会参加の割合が高い地域ほど、転倒や認知症やうつリスクが低い傾向がみられるという資料が示されていることは承知しております。 一方で、本市は、昭和 40 年代以降、市民の増加に合わせて多くの公共施設を建設してきましたが、今後は人口減少が進み、20 年後には昭和 40 年頃の同程度の人口規模となり、人口増加に合わせて整備された公共施設を引き続き、これまでと同様の施設配置や維持管理手法をもって更新・維持することは現実的ではなく、総量削減や維持管理費の抑制に取り組む必要があると考えております。 このため、本計画案では、施設の保有機能、利用状況、稼働率等を分析し、機能の集約・複合化、多目的利用を検討のうえ、機能と量の適正化を図ることとしております。 そして適正化の際は、単純な保有量の削減ではなく、市民の生活圏を考慮しつつ、類似機能の集約や多機能化により、施設保有量の削減と同時に可能な限り、利便性の維持・向上等に資する再配置を目指してまいります。